

3学期が始まって少し時間が経ちました。寒い日々が続き外へ出るのもおっくうになりますよね。そんなときは暖かい図書室での読書はいかがでしょうか？先月号でお伝えしました古本市の売上金で購入した本の貸し出しが始まります。どんどん借りに来てくださいね！



◎ 図書委員おすすめの本紹介

今月のおすすめの本紹介は、3年生が担当です。まもなく卒業を迎える3年生の皆さん、本校の図書室を使用できる期間も残りわずかとなりました。1・2年生も含めて、高校生のうちに様々なジャンルの本に挑戦してみてください。

「変身」著者:フランツ・カ夫カ 訳:中井正文 出版社:角川文庫

僕が紹介する本はチェコ出身の有名作家、フランツ・カ夫カの代表作「変身」です。

主人公グレゴールはしがない販売員だったが、朝目覚めると巨大な毒虫になっていたところからこの物語が始まります。最初こそは虫になってしまったグレゴールを家族は受け入れて世話をしていましたが、様々な不条理がグレゴール、ひいては家族にまで降りかかるつづき…というのがこの本のあらすじです。

僕が初めてこの本を読んだときに感じたのは、こんなにも救われないバッドエンド作品を初めて読んだことによる息苦しさでした。この世の不条理が集団に降りかかるつづき、そこからトゥルーエンドに向っていく作品はいくらか読んだことはありました、不条理が個人に降りかかるだけでこんなにも救われなくなるのは初めて知りました。ぜひ読んでみてください。

(担当:織田)



「何のために」著者:中村文昭 出版社:サンマーク出版

この『何のために』という本を読んで、自分が日々行っている行動の意味について考えさせられた。勉強や部活動、日常の小さな選択も、ただ何となく行うのではなく、「何のためにやるのか」を意識することが大切だと感じた。本の中では、目的を持つことで同じ行動でも感じ方や結果が変わることが書かれており、とても印象に残った。自分もこれからは、迷ったときやつらいときこそ目的を考え、納得したうえで行動していきたい。

この本は、自分自身を見つめ直すきっかけを与えてくれた一冊だった。また、この本を通して、目標があることで努力の意味がはっきりし、気持ちも前向きになると感じた。これからは結果だけでなく、その過程や理由を大切にしながら、自分の選択に責任を持って行動していきたい。

(担当:大沢)

何
の
た
め
に

中村文昭
Nakamura Fumio

サンマーク出版

